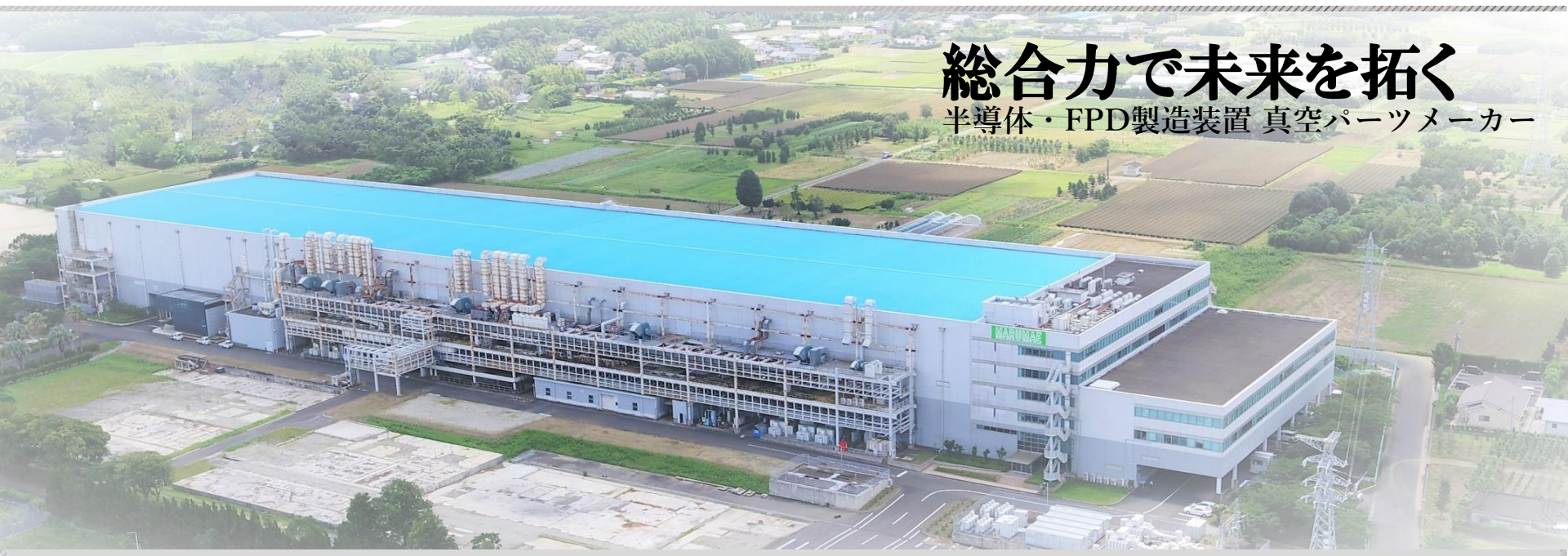


東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
2023年8月期 第2四半期決算 補足資料

2023年3月30日

総合力で未来を拓く
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2022年8月期 第2四半期累計期間		2023年8月期 第2四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高 ※	4,893	—	2,865	—	△41.4
受注残高 ※	2,819	—	1,311	—	△53.5
売上高	3,962	100.0	4,240	100.0	7.0
売上原価	2,413	60.9	2,917	68.8	20.9
売上総利益	1,548	39.1	1,322	31.2	△14.6
販売管理費	373	9.4	395	9.3	5.9
営業利益	1,175	29.7	927	21.9	△21.1
経常利益	1,171	29.6	913	21.5	△22.0
特別損益	△0	0.0	△2	0.1	—
当期純利益	837	21.1	644	15.2	△23.1
EPS (円)	65.40	—	51.00	—	△22.0

※ 受注高及び受注残高には有償受給材分が含まれております。

Point

①受注状況 ※

- 半導体分野：2,170百万円
(対前年同期：41.8%減)
- F P D分野：257百万円
(対前年同期：74.7%減)
- その他分野：438百万円
(対前年同期：197.7%増)

②売上高

- 対前年同期7.0%の増加
(分野別の詳細は次頁)

③売上原価

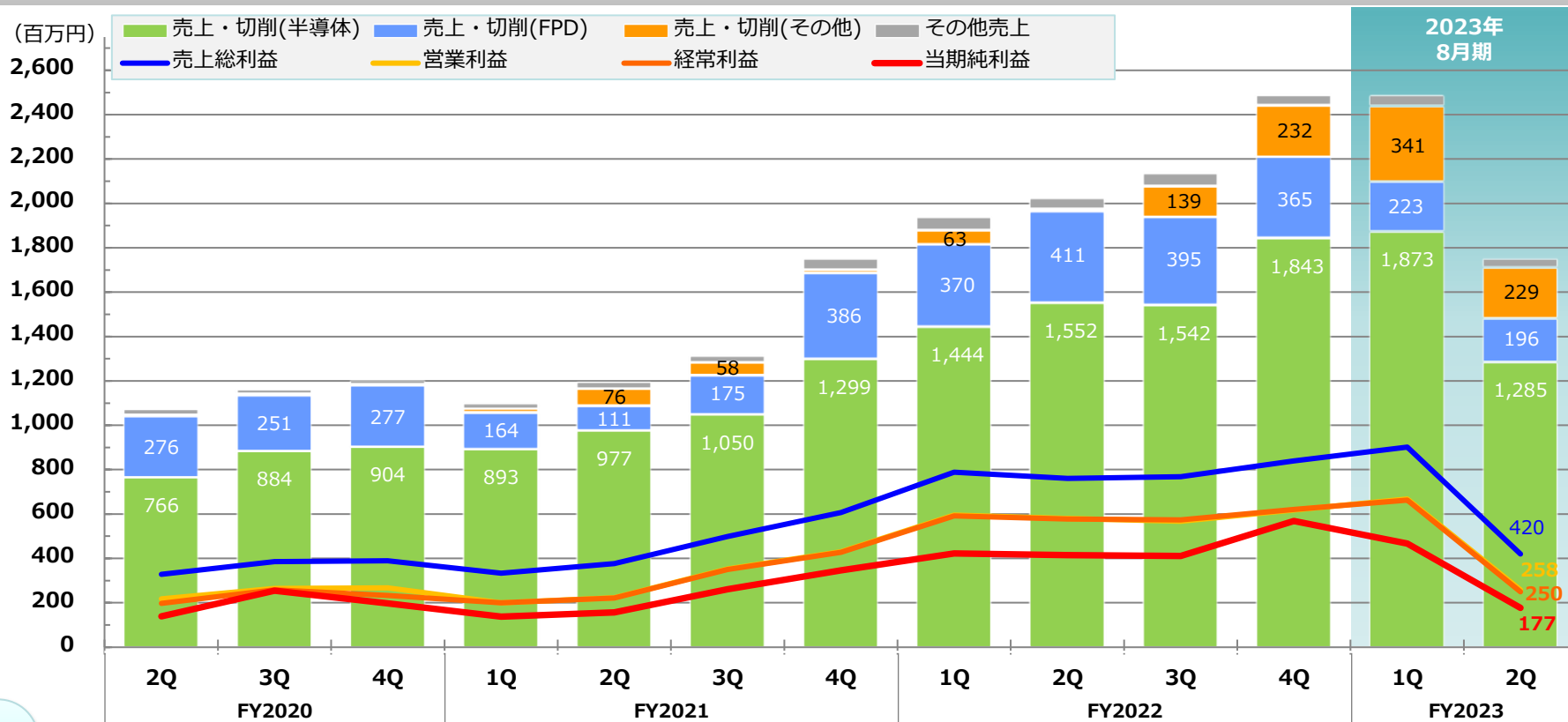
- 材料費：10百万円増加
(対前年同期：1.6%増)
- 外注加工費：39百万円減少
(対前年同期：6.3%減)
- 労務費：81百万円増加
(対前年同期：11.2%増)
- 減価償却費：126百万円増加
(対前年同期：39.5%増)

④販売管理費

- 販管人件費：24百万円増加
- 支払手数料：6百万円増加

1. 決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、前期比増加も半導体停滞強まる

- 半導体分野：3,159百万円（対前年同期：5.4%増）
 - ・半導体分野は、在庫調整の影響を受け減少
- FPD分野：419百万円（対前年同期：46.3%減）
 - ・市場停滞による売上停滞

- その他分野：570百万円（対前年同期：681.4%増）

- ・太陽電池製造装置部品は好調継続

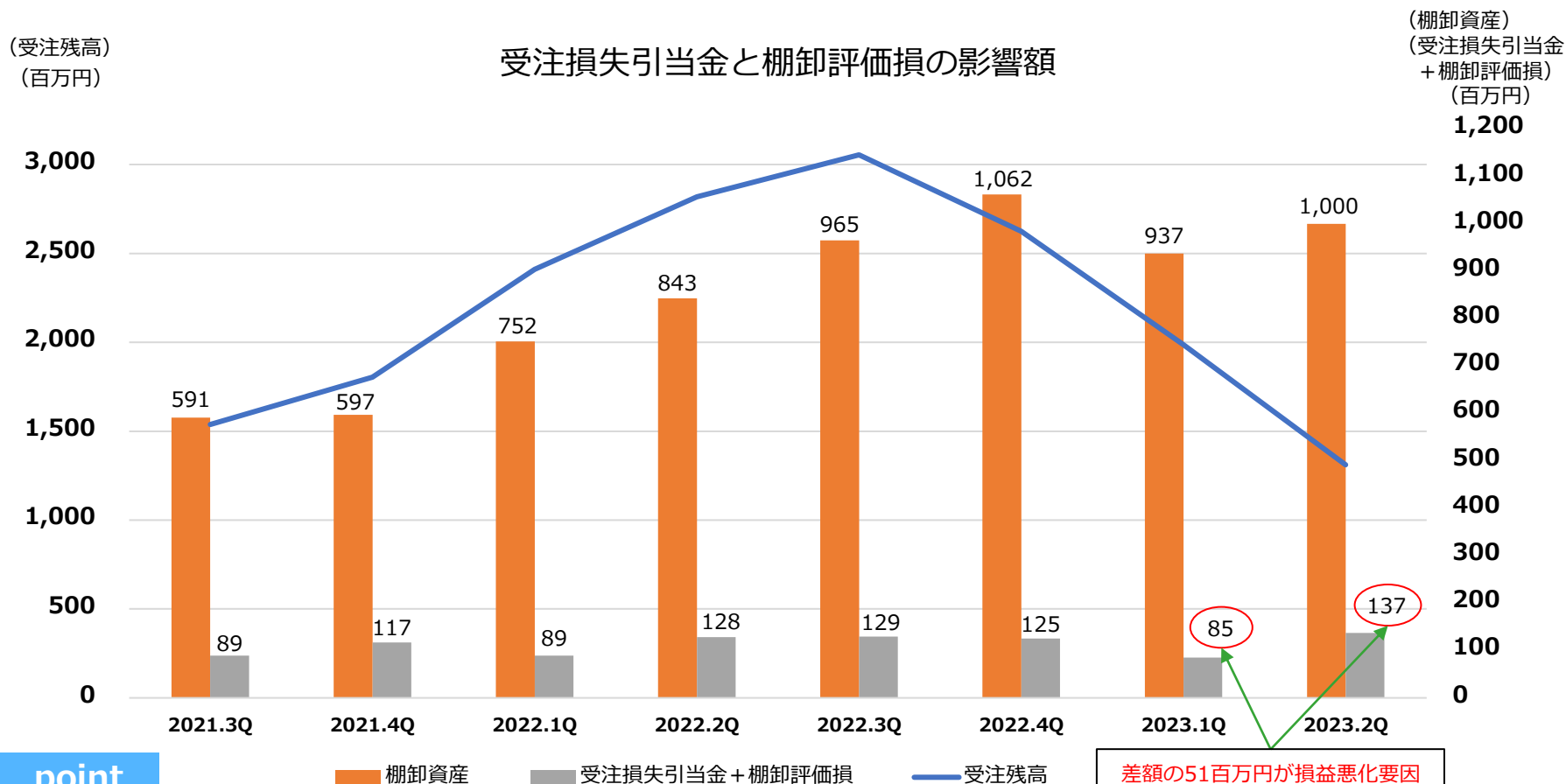
②損益面は売上減少と稼働率低下の影響等で減益

- ・棚卸資産の評価損は増加
- ・当期純利益644百万円（対前年同期：23.1%減）

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1. 決算概要

受注損失引当金と棚卸評価損等の推移



- ✓ 第2四半期においては、受注損失引当金と棚卸評価損により51百万円が損益悪化要因となっております。
- ✓ 受注損失引当金及び棚卸資産評価損は、未検収の受注残に対し、個別の受注案件ごとに過去の実績や追加発生原価の見積りから損失が見込まれるものを抽出して算出します。他案件と損益通算しない事から、受注残増加に伴い増加する可能性が高くなります。また、工場稼働率が低くなると時間当たりの単価が上昇する事から増加しやすくなります。

※受注損失引当金と棚卸評価損に関連する「仕掛品の評価及び受注損失引当金の見積り」は、前期の「監査上の主要な検討事項」(KAM)に選定されています。

1. 決算概要

B/S分析

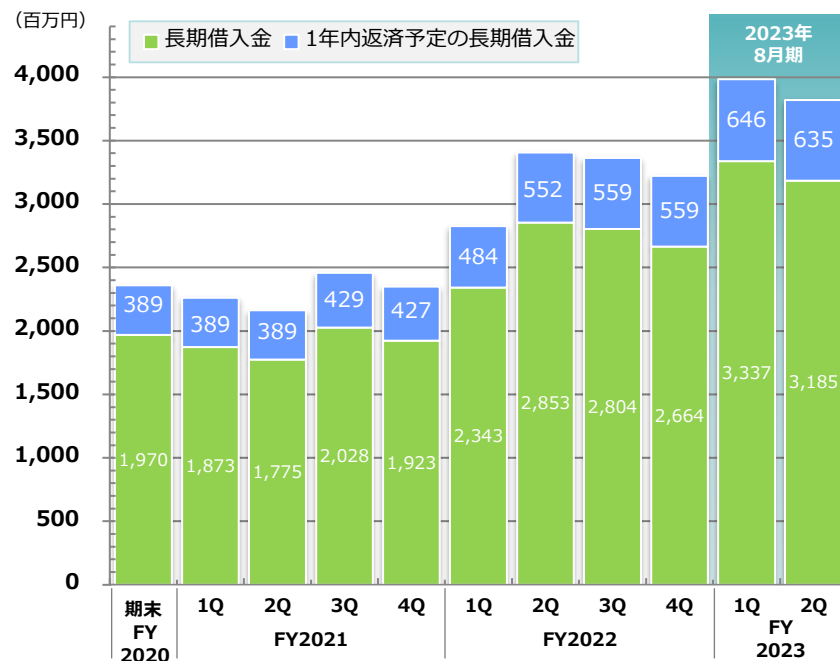
B/S

	2022年8月期 会計年度末 (百万円)	2023年8月期 第2四半期末 (百万円)
流動資産	6,591	6,268
現金及び預金	3,011	2,989
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	2,493	2,248
棚卸資産	1,062	1,000
固定資産	5,961	6,457
建物・土地	2,517	2,547
機械及び装置	2,971	3,452
流動負債	2,504	1,821
有利子負債(短期)※	559	635
固定負債	2,749	3,266
長期借入金	2,664	3,185
負債合計	5,253	5,087
純資産合計	7,299	7,638
総資産	12,552	12,726

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：12,726百万円(前期末比:173百万円増加)**
 - ・有形固定資産：522百万円増加
 - ・売上債権：245百万円減少
- ② **負債：5,087百万円(前期末比:166百万円減少)**
 - ・長期借入金：521百万円増加
 - ・未払法人税等：253百万円減少
- ③ **純資産：7,638百万円(前期末比:339百万円増加)**
 - ・配当金の支払い：328百万円
 - ・四半期純利益の計上：644百万円
 - ・自己資本比率：58.1%→60.0%



2. 事業環境

今後の販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ 2023年1月以降に市場環境は急速に悪化
- ◆ 市場停滞に加え、想定以上の在庫調整と発注調整（長納期減少）
- ◆ 在庫調整は6月まで継続し、以降は緩やかに改善を見込む

FPD分野

- ◆ OLED G6は2023年9月以降に低調ながらも再拡大見込み
- ◆ OLED G8は2023年11月以降拡大見込み（試作品出荷済み）
- ◆ 市場停滞の中でも新品种獲得でシェア拡大狙う

その他分野

- ◆ 太陽電池向け装置活発 引き合い急増
- ◆ FPD分野の余力活用し営業活動活発化 大型組立工場確保が課題
- ◆ 一部外注化は継続しながらも内製比率改善

3. 2023年8月期の業績予想

当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

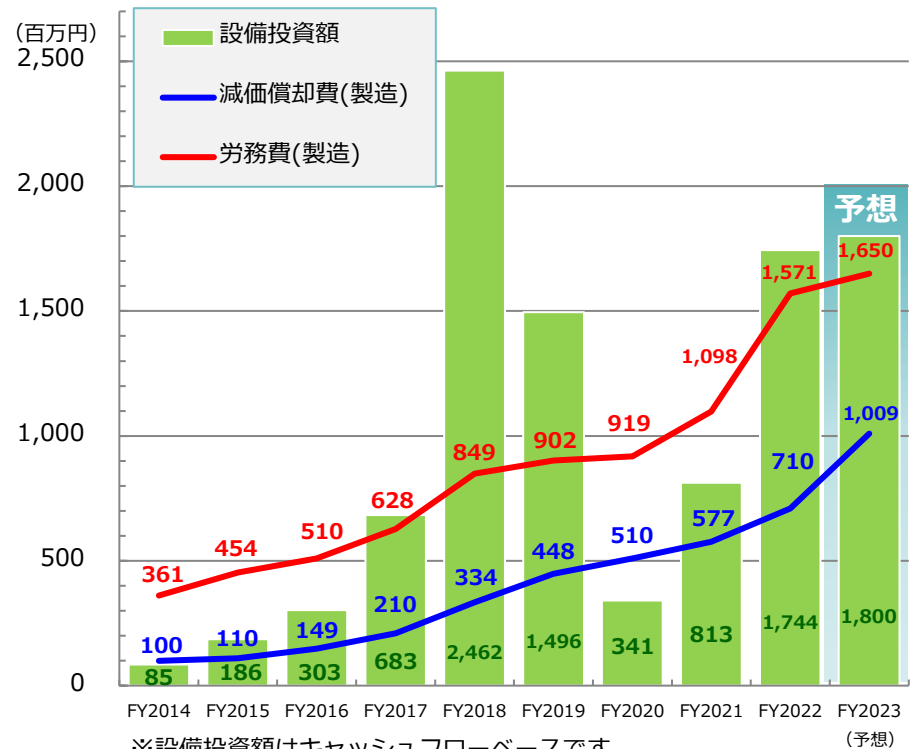
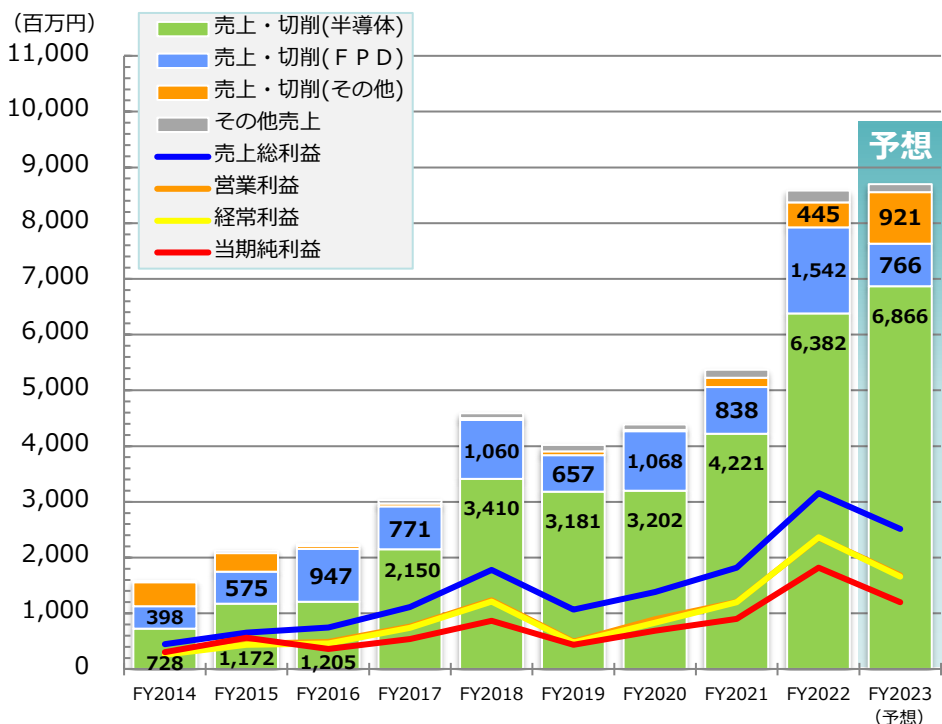
業績
予想

2023年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
通期	8,700	1,680	1,660	1,200	95.03

1Q好調で上期好調も、2～3Qが想定以上の在庫調整で通期据え置き

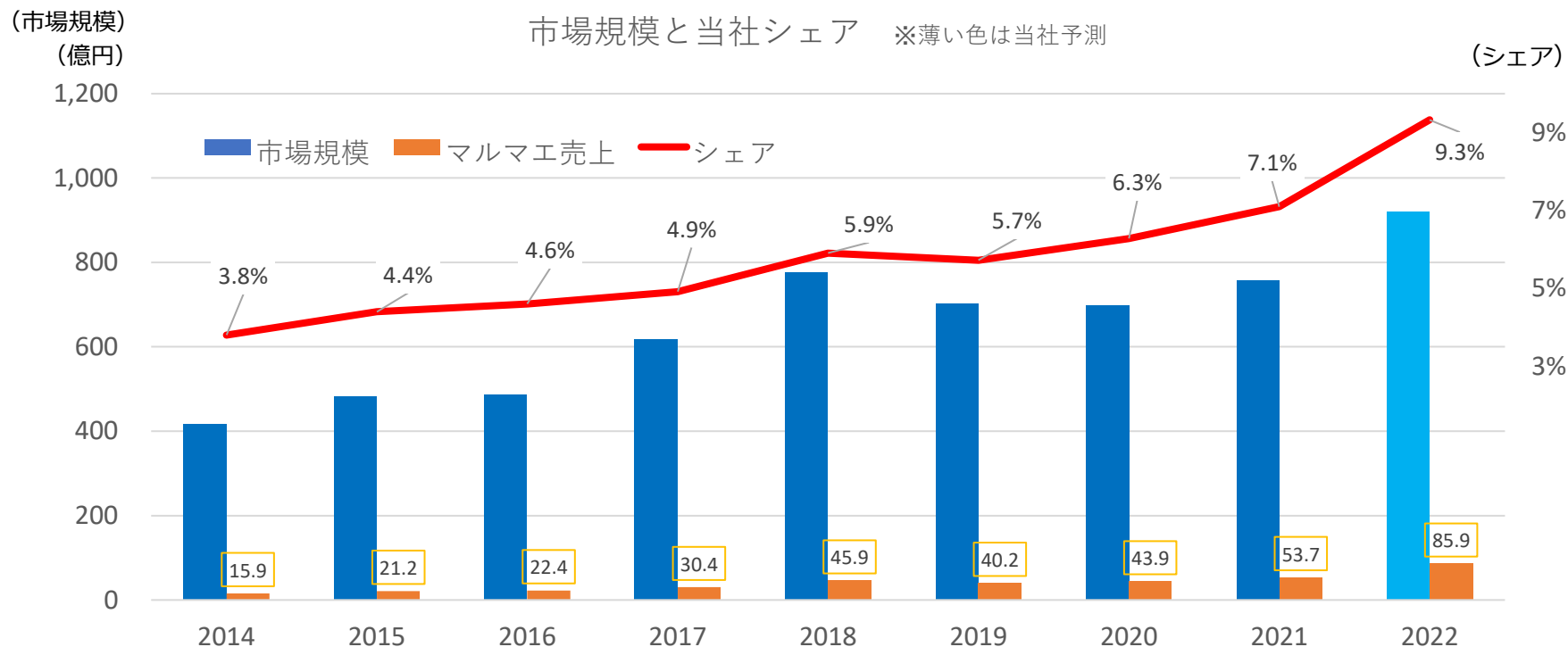
Point

- ✓ 一時的市場停滞で利益率低下
- ✓ 増産投資は環境に合わせ一部先送り見込み
- ✓ 在庫調整が想定以上も3Qが底の見通し
- ✓ 次期市場拡大に向け生産力の維持向上



4. 中期事業計画「Innovation2025」

当社の属する市場とシェア推移



成長性

- ✓ 当社の属する市場は、2022年に半導体もFPDも共に好調であったことから市場は急拡大。
- ✓ 同業他社との競合のなか、当社は生産能力増強によってシェア拡大を続け、2022年はシェアトップ達成。

- ・本項の市場規模データは、当社と類似した半導体とFPD製造装置の真空パーツを生産する企業で、当社が認識する一部（当社含30社）の企業について、各暦年に属する決算期末ごとの売上高を調査機関の情報を基に集計したものです。
- ・2022のデータにおいて、決算月の違いから現時点でデータ未開示の会社については、各社の受注環境をもとにした当社予測値が含まれます。

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Company Profile

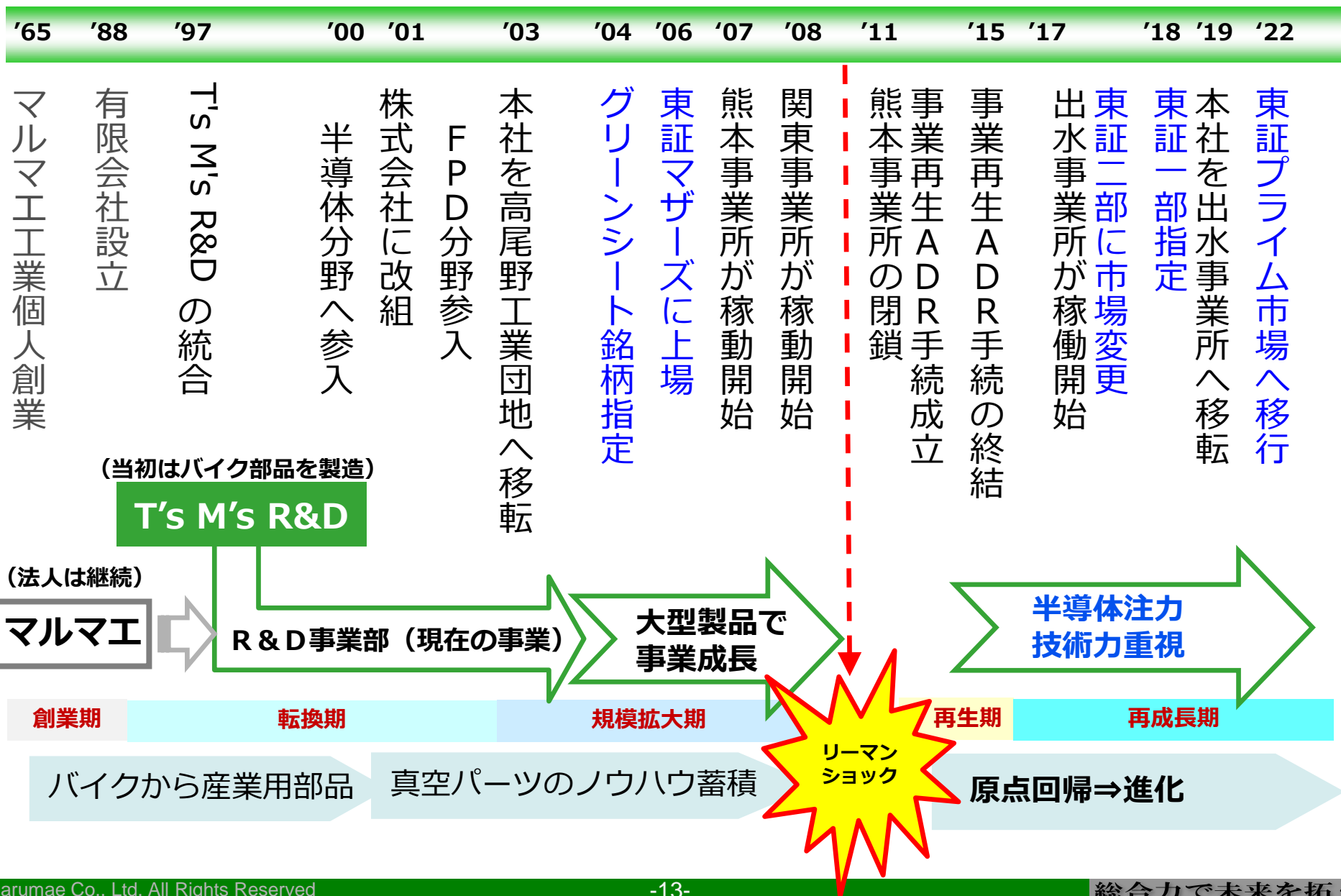
企業情報

参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

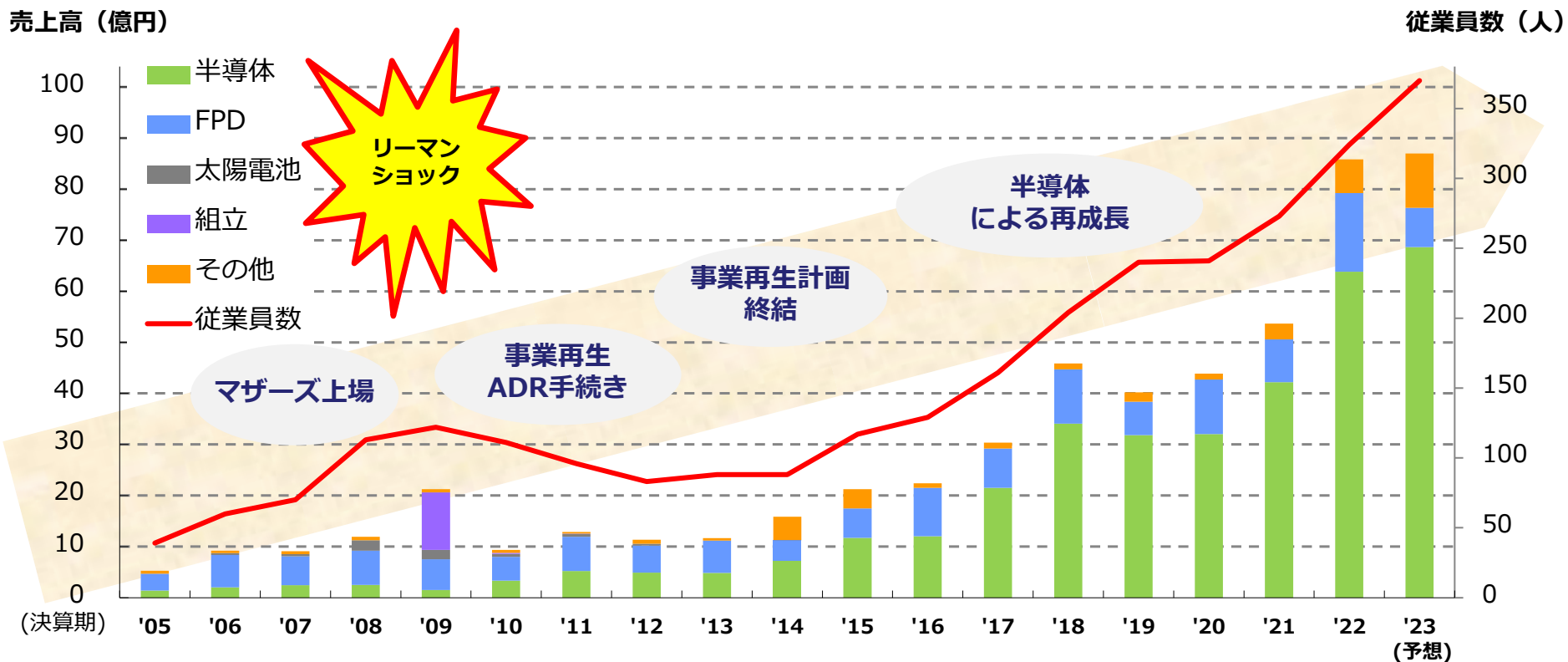


参考資料（沿革と事業変遷）



参考資料（沿革と事業変遷）

事業成長と成長ドライバー



規模拡大

再構築

再成長

技術力
醸成

設備大型化
生産力拡大
組立事業

FPD
太陽電池

大型設備整理
生産力再配分
真空パーツ強化

半導体強化
設備投資再拡大

参考資料（現在の事業内容）

主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています

主要工程（半導体）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
洗浄

（FPD）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
洗浄
イオン注入

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2023年2月28日現在）
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役 世耕 久美子 取締役（監査等委員）宮川 博次
従業員数	335名 うち 臨時雇用者等 161名（2023年2月28日現在） 他 派遣社員54名
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計及び製作 ・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	12,006名	
大株主 （普通株式）	前田 俊一	4,828,817株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	809,600株
	前田 美佐子	504,000株
	前田 良子	180,000株
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATI ONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS: CLIENT OMNI OM25	179,858株
	五十嵐 光栄	169,000株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	147,800株
	マルマエ共栄会	126,900株
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	102,500株
	川本 忠男	88,900株
（注）自己株式が412,494株あります。 （2023年2月28日現在）		